

# FY20 2Q 決算説明資料

2020年10月30日  
東京特殊電線株式会社

1. 決算概要	• • • • •	P.03
2. 配当金及び業績予想	• • • • •	P.09
3. Appendix	• • • • •	P.11

(単位：百万円、%)	FY19 2Q	FY20 2Q	増減	増減率	増減要因
売上高	8,602	7,805	▲797	▲9.3	<p><b>売上原価率</b></p> <p>売上高での減収もあったが、原価低減の推進や高付加価値品の伸長に伴う改善</p>
売上原価	6,469	5,752	▲717	▲11.1	
(率)	75.2	73.7	▲1.5	—	
売上総利益	2,132	2,052	▲80	▲3.7	
販売費及び一般管理費	1,143	1,109	▲34	▲3.0	<p><b>法人税</b></p> <p>▲33百万円 (▲178百万円→▲211百万円)</p> <p><b>法人税等調整額</b></p> <p>▲27百万円 (20百万円→▲7百万円)</p>
営業利益	989	943	▲46	▲4.6	
(率)	11.5	12.1	+0.6	—	
経常利益	1,002	1,008	+6	+0.6	
(率)	11.7	12.9	+1.2	—	
税金等調整前当期純利益	953	1,013	+60	+6.3	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	772	773	+1	+0.1	
(率)	9.0	9.9	+0.9	—	

- ・ 売上高は、7,805百万円となり、前年同期比 ▲797百万円（▲9.3%）の減収となった。
- ・ 売上高増減に含まれる為替換算による影響額 ▲49百万円  
（分野別：電線・ヒータ分野 ▲30百万円、デバイス分野 ▲19百万円）

### 構成比

#### 電線・ヒータ分野



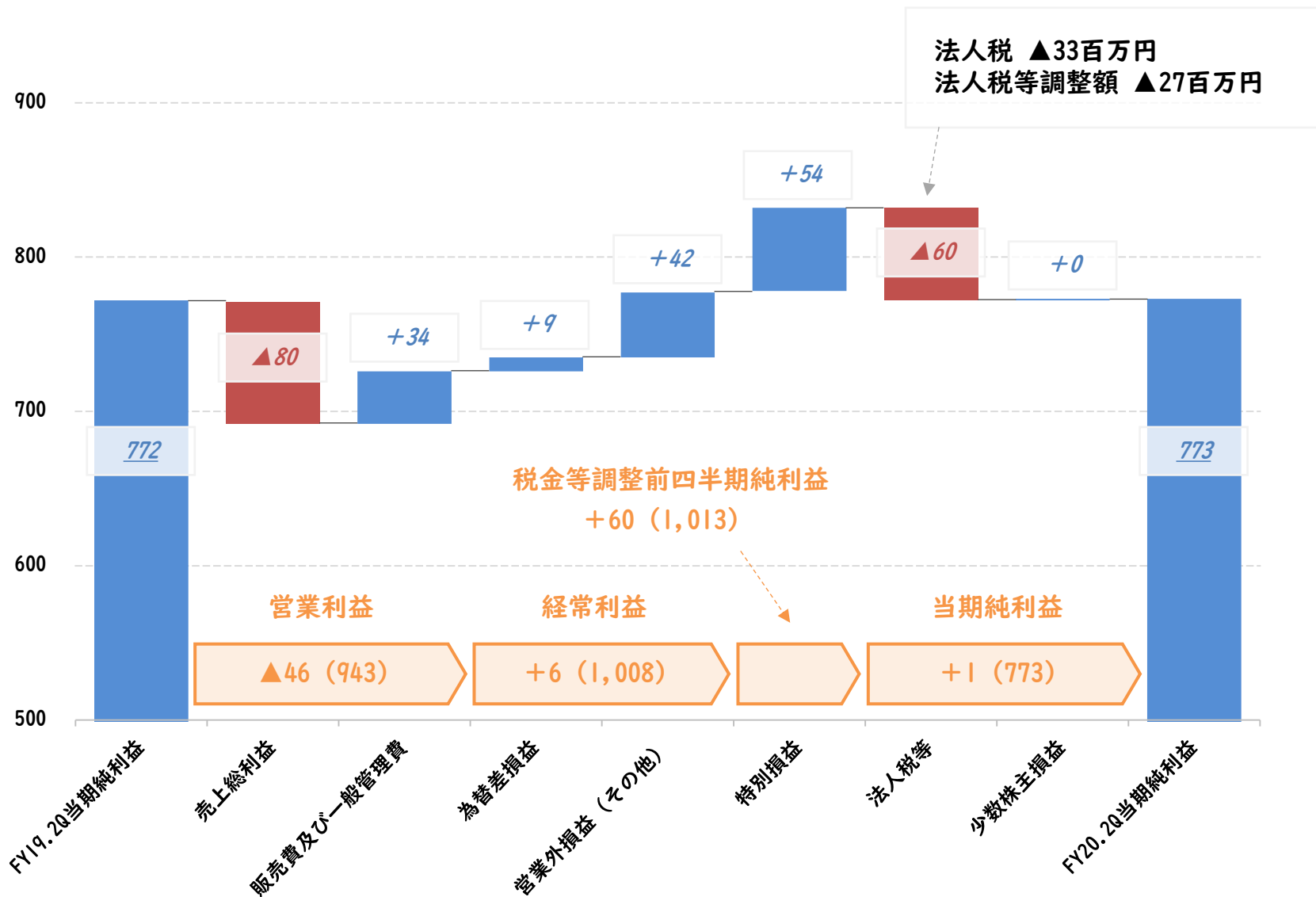
パソコンの電源トランスに使用される三層絶縁電線は増収となったが、主に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、自動車向けシート用ヒータ線を含むヒータ製品が大幅に減収となった為、前年同期比▲873百万円（▲15.6%）の4,708百万円となった。

#### デバイス分野



新型コロナウイルス感染拡大に伴う一部の海外連結子会社での操業停止により、プリンター等に使用されるフレキシブルフラットケーブルの減少や米中貿易摩擦を受け、中国子会社の焼付線の受注は減少となったが、スマートフォン等の基板導通検査治具に使用されるコンタクトプローブが好調に推移した結果、前年同期比+83百万円（+2.8%）の3,040百万円となった。

（単位：百万円、%）	FY19 2Q	FY20 2Q	増 減	増減率
売上高（連結）	8,602	7,805	▲797	▲9.3
電線・ヒータ分野	5,581	4,708	▲873	▲15.6
デバイス分野	2,957	3,040	+83	+2.8
その他分野	63	55	▲8	▲11.3



※ (単位: 百万円)、括弧内は実績、少数株主損益: 非支配株主に帰属する四半期純利益、当期純利益: 親会社株主に帰属する四半期純利益

- ・ 営業利益は、943百万円となり、前年同期比 ▲46百万円（▲4.6%）の減益となった。
- ・ 営業利益増減に含まれる為替換算による影響額 ▲3百万円  
（分野別：電線・ヒータ分野 ▲1百万円、デバイス分野 ▲2百万円）

### 構成比

#### 電線・ヒータ分野



主に前年同期では堅調に推移した自動車向けシート用ヒータ線を含むヒータ製品が新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅な減収となった影響を受け、前年同期比▲237百万円（▲33.7%）の464百万円となった。

#### デバイス分野



前年同期では低調な推移となっていたコンタクトプローブが好調な推移となったこと、また、売上高を占める品種構成において高付加価値品が伸長したことも寄与し、前年同期比+189百万円（+52.2%）の550百万円となった。

（単位：百万円、%）	FY19 2Q	FY20 2Q	増 減	増減率
営業利益（連結）	989	943	▲46	▲4.6
電線・ヒータ分野	701	464	▲237	▲33.7
デバイス分野	361	550	+189	+52.2
その他分野	▲73	▲72	+1	—

(単位：百万円、%)	FY19	FY20 2Q	増減	増減率	増減要因
流動資産	14,218	14,653	+435	+3.1	<b>流動資産（その他）</b> 売掛債権 ▲383百万円 棚卸資産 ▲53百万円 等
現金及び預金	8,438	9,289	+851	+10.1	
その他	5,779	5,364	▲415	▲7.2	
固定資産	8,535	8,915	+380	+4.5	<b>有形、無形固定資産</b> 設備投資 +915百万円 減価償却費 ▲400百万円 固定資産除売却 ▲17百万円 その他 ▲63百万円
有形、無形固定資産	6,073	6,507	+434	+7.1	
投資その他の資産	2,461	2,407	▲54	▲2.2	
資産合計	22,753	23,569	+816	+3.6	<b>株主資本</b> 資本剰余金 +443百万円 利益剰余金 +571百万円
流動負債	5,640	5,935	+295	+5.2	
固定負債	2,816	2,820	+4	+0.1	
負債合計	8,457	8,755	+298	+3.5	<b>純資産合計（その他）</b> 非支配株主持分 ▲416百万円
(うち、有利子負債)	2,394	2,420	+26	+1.1	
株主資本	13,385	14,399	+1,014	+7.6	
その他	910	413	▲497	▲54.5	
純資産合計	14,295	14,813	+518	+3.6	
負債純資産合計	22,753	23,569	+816	+3.6	
自己資本比率	59.4	61.3	+1.9	—	
Net Cash	6,044	6,868	+824	+13.6	

1. 決算概要	• • • • •	P.03
2. 配当金及び業績予想	• • • • •	P.09
3. Appendix	• • • • •	P.11



- FY20の年間配当金は、60.0円／株と予想（中間配当金 30.0円／株、期末配当金 30.0円／株）
- FY20の業績予想につきましては、2020年5月18日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更ございません。金額につきましては、下表の通りとなります。

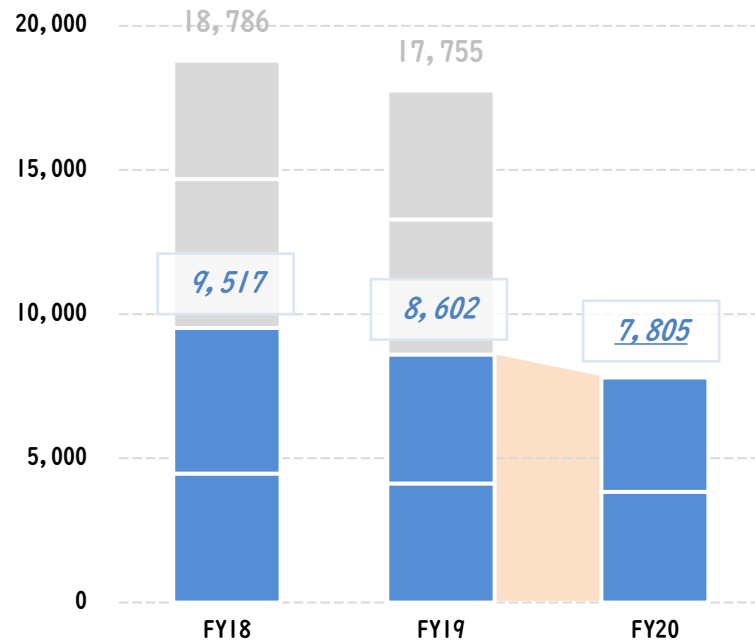
配当金（円、銭）	中間配当（a）	期末配当（b）	合計（a+b）	総額（百万円）	配当性向（％）
FY18	30.0	30.0	60.0	407	22.0
FY19	30.0	30.0	60.0	405	34.3
FY20（予想）	30.0	30.0	60.0	—	33.7

業績予想（百万円、％）	FY19 実績	FY20 予想	増減	増減率
売上高	17,755	16,700	▲1,055	▲5.9
営業利益	2,260	1,700	▲560	▲24.8
経常利益	2,322	1,700	▲622	▲26.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,187	1,200	+13	+1.1

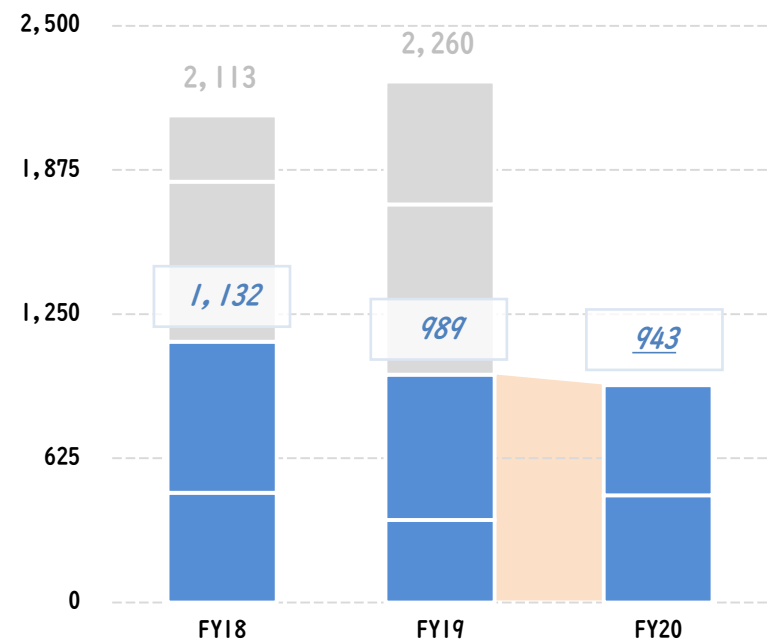
1. 決算概要	• • • • •	P.03
2. 配当金及び業績予想	• • • • •	P.09
3. Appendix	• • • • •	P.11

- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照ください。

## 売上高（百万円）

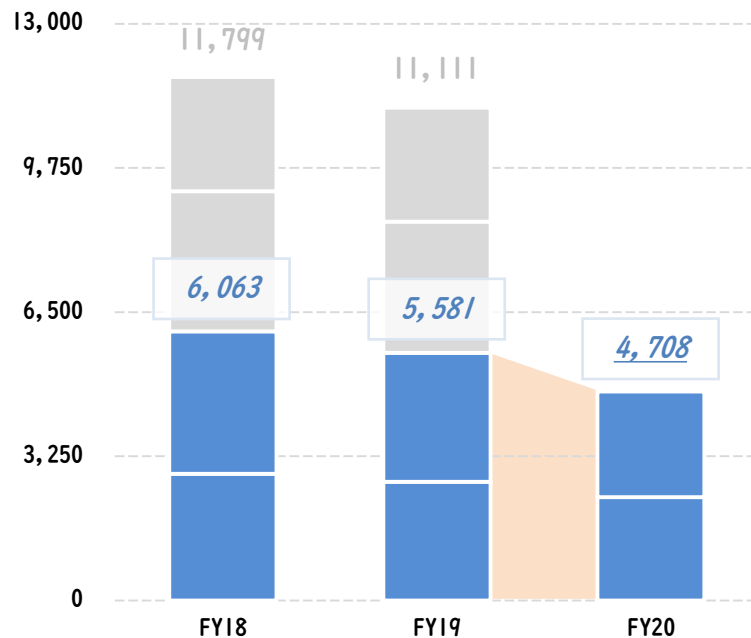


## 営業利益（百万円）

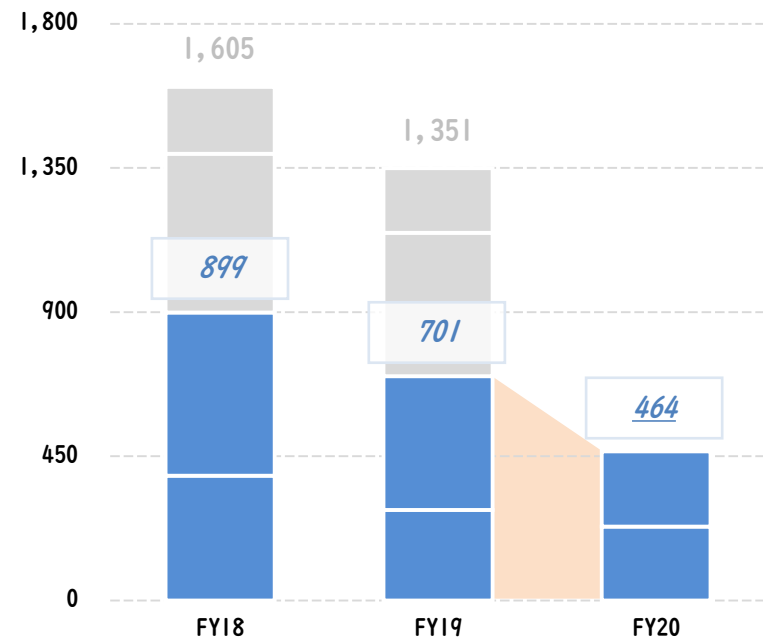


- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照ください。

## 売上高（百万円）

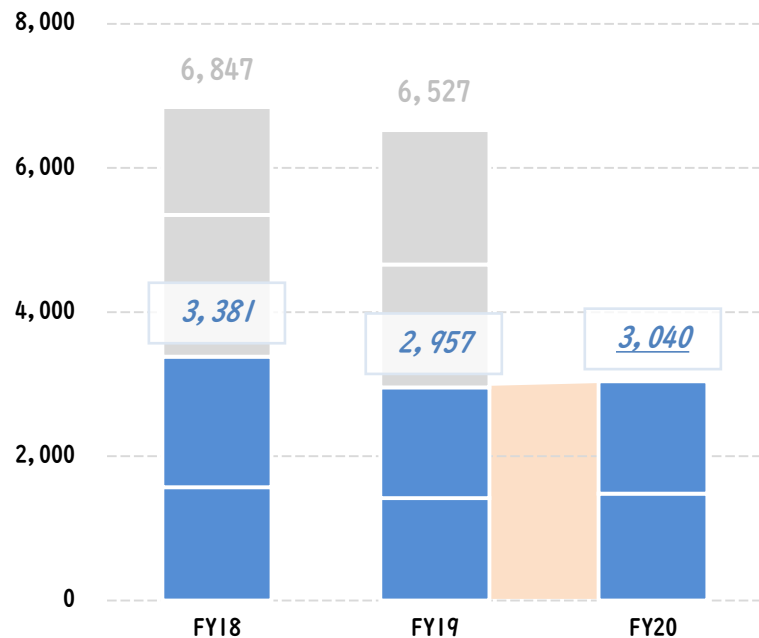


## 営業利益（百万円）

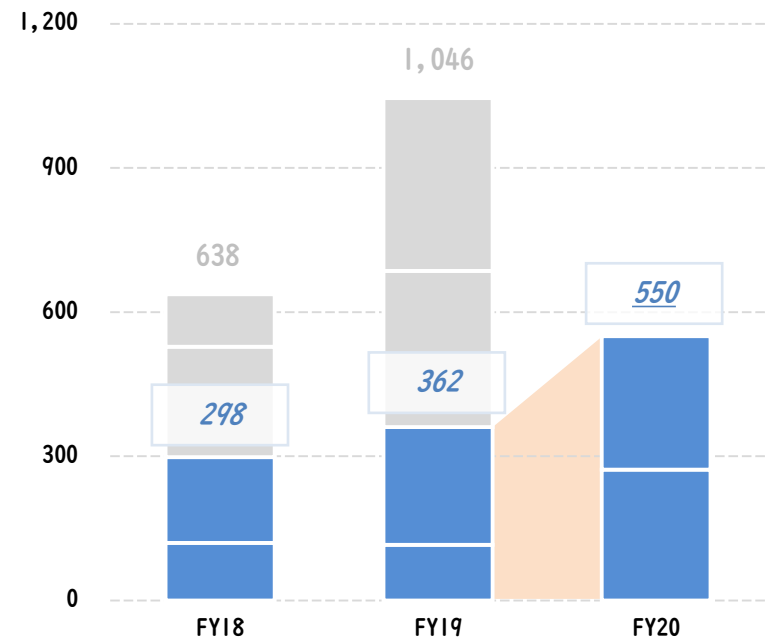


- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照ください。

## 売上高（百万円）

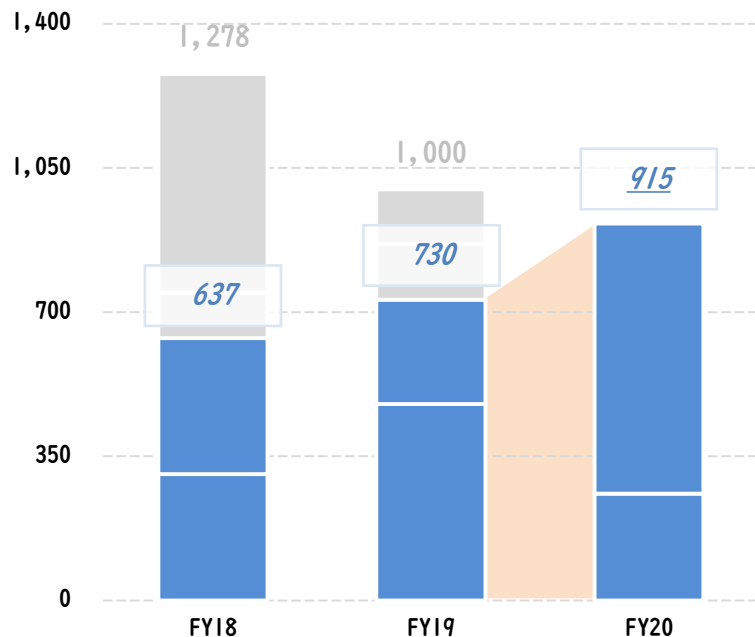


## 営業利益（百万円）

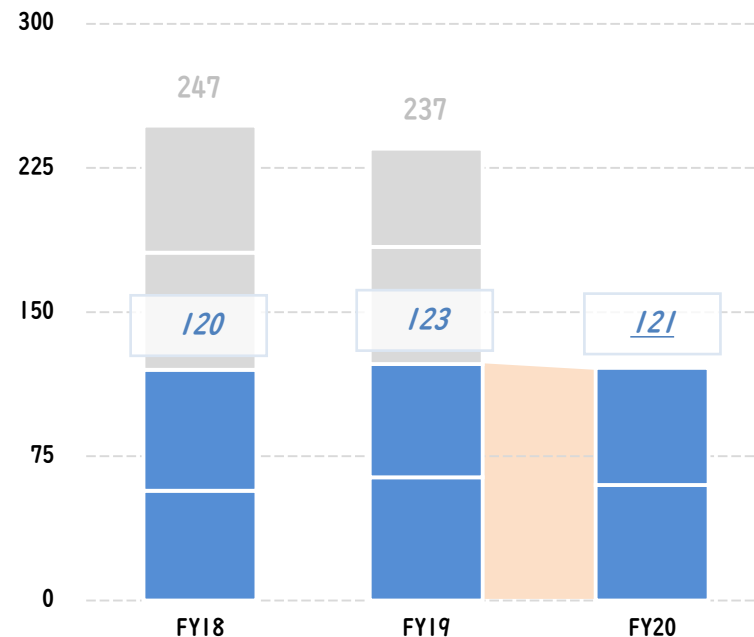


- ・ 設備投資は、主に本体にて新建屋建設に伴う投資の増加に伴い、前年同期比+185百万円（本体+290百万円、連結子会社▲105百万円）の915百万円となった。
- ・ 減価償却費は、前年同期比▲40百万円の400百万円となっている。
- ・ 研究開発費については、前年同期比▲2百万円（本体▲1百万円、連結子会社▲1百万円）の121百万円となった。

## 設備投資（百万円）



## 研究開発費（百万円）



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がございます。